

法律行政専攻学科

科目名	基礎言語 I (国語総合)	
科目コード	TEA	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:10時間	
授業の目的	公務員に必要な国語力・読解力・表現力を養うために学習を行なう。高校までの国語総合の知識とあわせ文章読解を中心に、公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の文章・活字に触れ知能を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する	
授業計画	1回	基礎国語編、文と文章、内容把握の解法1
	2回	内容把握の解法2
	3回	内容把握の解法3
	4回	文章整序の解法
	5回	空欄補充の解法
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	文章理解(テキスト、解答解説集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎言語Ⅱ(文章読解)	
科目コード	TEB	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な国語力・読解力・表現力を養うために学習を行なう。高校までの国語総合の知識とあわせ文章読解を中心に、公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の文章・活字に触れ知能を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する	
授業計画	1回	総合演習1
	2回	総合演習2
	3回	総合演習3
	4回	総合演習4
	5回	総合演習5
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	文章理解スタンダード問題集(問題、解答・解説)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎言語Ⅲ(文章表現)	
科目コード	TEC	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:2時間、演習:8時間	
授業の目的	公務員に必要な作文・小論文作成能力を養うために学習を行なう。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験分野である作文、小論文で幅広い内容の知識と文章表現・校正力を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する。	
授業計画	1回	基礎授業、原稿用紙の使い方、段落構成、内容の表現方法
	2回	作文1 自分が成長したと思うこと
	3回	行事振り返り
	4回	作文2 今、一番興味を惹かれるもの
	5回	作文3 感動した出来事
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にて作文を行う。添削時各100点×4=400点満点にて評価(試験70%、出席点30%)	
テキスト	論作文対策(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会 I (政治)	
科目コード	TEF	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:30時間	
授業の目的	憲法を中心とした政治体系を理解する。日本を初め主要各国の政治体系の基本的知識を身につけるとともに違いを明確にしていく。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、政治の重要性を理解する。日本国憲法を中心に、現代の政治体系を理解しつつ、問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	政治の基本概念
	2回	政治制度論1
	3回	政治制度論2
	4回	日本国憲法の特色、基本的人権総論
	5回	幸福追求権、平等権
	6回	精神的自由権、経済的自由権、人身の自由
	7回	社会権、能動的権利と受益権
	8回	憲法改正の手続
	9回	国会の機構と運営
	10回	内閣の機構と運営
	11回	裁判所の機構と運営
	12回	地方自治1
	13回	地方自治2
	14回	政治過程論1
	15回	政治過程論2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	政治(テキスト、レジュメ、ドリル)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅱ(経済)	
科目コード	TEG	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:30時間	
授業の目的	公務員に必要な経済社会と経済体制の理解やわが国の金融政策、財政政策などの知識、また戦後の国内外経済を養うために学習を行なう。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、経済の重要性を理解する。国内の財政政策や金融政策を中心に、戦後以降の国内外の経済動向を理解しつつ、問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	経済社会の変容と経済体制
	2回	現代の企業
	3回	現代の市場
	4回	国民所得、国民経済計算
	5回	経済成長と景気循環
	6回	通貨制度と金融政策1
	7回	通貨制度と金融政策2
	8回	財政制度と財政政策1
	9回	財政制度と財政政策2
	10回	日本経済の動向1
	11回	日本経済の動向2
	12回	貿易と外国為替1
	13回	貿易と外国為替2
	14回	国際経済の動向1
	15回	国際経済の動向2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	経済(テキスト、レジュメ、ドリル)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅲ(日本史)	
科目コード	TEH	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な日本史知識と文化の発展、統治形態の変化などを通じ現代との違いを理解する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、日本史の重要性を理解する。近世・近代を中心に、現代までの歴史を理解しつつ、講義と演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	原始、古代 飛鳥時代から律令体制の完成、平安時代と国風文化
	2回	文化史 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・国風文化
	3回	中世 鎌倉時代、室町時代、通史
	4回	近世1 封建社会の確立
	5回	近世2 文治政治と元禄文化、幕藩体制の動揺
	6回	近代1 幕末、明治維新と文明開化
	7回	近代2 立憲体制の成立
	8回	近代3 資本主義経済の発展、近代文化の発展
	9回	近代4 資本主義経済の発展、第1次世界大戦と戦後の外交
	10回	近代5 第1次世界大戦と戦後の外交、第2次世界大戦と日本
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	日本史(テキスト、レジュメ、ドリル)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅳ(世界史)	
科目コード	TEI	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な世界史知識と文化の発展、統治形態の変化などを通じ現代との違いを理解する。中国史と西洋史に分け高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、世界史の重要性を理解する。中国史・近代欧米諸国を中心に、現代までの歴史を理解しつつ、講義と演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	古代文明 中国史1 魏・晋・南北朝・隋・唐
	2回	中国史2 宋・元・明・清、清の崩壊
	3回	周辺諸国の動向、イスラム世界、古代地中海世界
	4回	中世ヨーロッパ
	5回	近代ヨーロッパの誕生
	6回	フランス革命とナポレオン
	7回	19世紀の欧米
	8回	第一次世界大戦
	9回	ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動
	10回	第二次世界大戦
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	世界史(テキスト、レジュメ、ドリル)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅴ(思想)	
科目コード	TEJ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な思想の知識と考え方を理解する。宗教改革や古代日本思想に触れ哲学者の見解を広く理解する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験では1~2問程度の分野であり、代表的な思想家の考え方を理解する。頻出の分野を中心に、現代までの思想家を網羅しつつ、講義を中心に実施していく。	
授業計画	1回	思想基礎
	2回	ギリシャの思想
	3回	西洋の近代思想1 ルネサンス、モラリスト、経験論と合理論
	4回	西洋の近代思想2 社会契約説、功利主義、ドイツ観念論
	5回	現代思想1 プラグマティズム、実存主義
	6回	現代思想2 精神分析学、心理学、構造主義
	7回	東洋思想の源流 中国の思想、諸子百家
	8回	日本の思想1 日本の仏教の形成、日本の儒学
	9回	日本の思想2 国学と洋学、民衆の思想
	10回	日本の近代思想 啓蒙思想、キリスト教思想、明治後期から大正期の思想
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にて定期試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	思想倫理(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅵ(地理)	
科目コード	TEK	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員試験に必要な、現代世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、人種・民族などに関する地理的事象の分布やその要因などについて体系的に考察させるとともに、それらの学習で習得した知識、地理的技能を活用して学習を行う。	
授業内容	公務員試験の頻出分野である、地理の重要性を理解する。 現代世界の地理を理解しつつ、講義と演習を中心に実施していく。 特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。 PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	自然環境と地図1 地形
	2回	自然環境と地図2 地形、地図の特色と利用
	3回	自然環境と地図3 世界の気候・植生・土壌
	4回	自然環境と地図4 世界の気候・植生・土壌
	5回	資源と産業1 食料の生産と消費
	6回	資源と産業2 食料の生産と消費
	7回	資源と産業3 エネルギー資源と原料資源
	8回	資源と産業4 工業化と工業地域
	9回	世界の国々1 アジア、アフリカ
	10回	世界の国々2 ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	地理(テキスト、レジュメ、ドリル)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学 I (数学)	
科目コード	THM	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:6時間、演習4時間	
授業の目的	公務員に必要な数学の数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目標とする。	
授業内容	公務員試験出題分野を、理解する。 講義と演習を中心に実施していく。 特に公務員試験に出題され易い部分を中心に講義を展開する。	
授業計画	1回	数と式 式の変形、割り算と剰余の定理、等式の変形、方程式
	2回	関数 一次関数、二次関数
	3回	式と図形 図形の移動、円
	4回	演習1
	5回	演習2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にて定期試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	数学(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学Ⅱ(数的推理)	
科目コード	TEN	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:30時間	
授業の目的	公務員に必要な数的思考・推理能力を養うために学習を行なう。高校数学の知識とあわせ公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の数的知能を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する	
授業計画	1回	数と文字式の計算、方程式、連立方程式
	2回	不等式、連立不等式、過不足算
	3回	平均算
	4回	年齢算、約数と倍数
	5回	割り算の余り、整数の性質、カレンダー算
	6回	数列、魔方陣、虫喰算、覆面算、n進法
	7回	比
	8回	売買算
	9回	濃度算
	10回	旅人算
	11回	通過算、流水算
	12回	時計算、仕事算
	13回	給排水算、ニュートン算
	14回	場合の数基礎
	15回	道順・事象と確立基礎
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理 数的推理編(テキスト、問題集、解答解説集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学Ⅲ(判断推理)	
科目コード	TEO	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な課題処理・推理能力・読解能力をを養うために学習を行なう。高校数学の知識とあわせ公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の課題処理・推理能力を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する。	
授業計画	1回	論理
	2回	集合の要素と個数
	3回	順序の決定
	4回	順序の変動
	5回	順序の数値条件
	6回	対応関係
	7回	スケジュールのパズル化
	8回	議長席、円卓、道をへだてて・方位
	9回	リーグ戦、カード・ゲーム
	10回	ウソの発言、推理・手順、暗号
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理 判断推理編(テキスト、問題集、解答解説集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学Ⅳ(空間把握)	
科目コード	TEP	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な図形の一般的な知識・空間把握能力・思考能力を養うために学習を行なう。高校数学の知識とあわせ公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の図形の一般的な知識・空間把握能力・思考能力を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する。	
授業計画	1回	折り紙、回転の軌跡、正多面体と展開図
	2回	平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図・積み木
	3回	立体の切断・回転体
	4回	一筆書き、平面図形の計量
	5回	三平方の定理、相似比、中点連結定理
	6回	角度、円周角の定理、接弦定理
	7回	内接円、扇形の面積、移動図形の面積
	8回	立体図形の計量、回転体の体積
	9回	立体図形の計量、立体の断面積と表面積
	10回	立体図形の計量、立体の体積比
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理 図形・資料解釈編(テキスト、問題集、解答解説集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学Ⅴ(資料解釈)	
科目コード	TEQ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な資料解釈能力・構成比などのグラフ知識・判断及び計算能力を養うために学習を行なう。高校数学の知識とあわせ公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の資料解釈能力・構成比などのグラフ知識・判断及び計算能力を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する。	
授業計画	1回	実数・割合1
	2回	実数・割合2、構成比1
	3回	構成比2
	4回	構成比3、指数1
	5回	指数2、増加率1
	6回	増加率2、相関図、三角グラフ
	7回	演習1
	8回	演習2
	9回	演習3
	10回	演習4
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理 図形・資料解釈編(テキスト、問題集、解答解説集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎自然科学 I (生物・化学)	
科目コード	TED	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:10時間	
授業の目的	公務員試験に必要な、生物学への関心を高め、生物学的に探究する能力を身につけるとともに、生物の基本的な概念や原理・法則を理解する。	
授業内容	公務員試験の頻出分野である、生物の重要性を理解する。 生物の特徴を理解しつつ、講義と演習を中心に実施していく。 特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。 PPを利用し、レジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	生体の構造
	2回	生体内の代謝
	3回	生殖と発生、遺伝と変異
	4回	刺激の受容と反応
	5回	内部環境の恒常性と調節
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	生物(テキスト、レジュメ、ドリル)、化学(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎自然科学Ⅱ(物理・地学)
科目コード	TEE
担当教員	本学教員
履修年次	1年次
授業時間数	講義:10時間
授業の目的	公務員試験に必要な、地学への関心を高め、探究する能力を身につけるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
授業内容	公務員試験の頻出分野である、地学の重要性を理解する。 地学の特徴を理解しつつ、講義と演習を中心に実施していく。 特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。 PPを利用した授業をレジュメとテキストを駆使する。
授業計画	1回 地球の姿と動く大地 2回 岩石 火成岩とマグマ、堆積岩と風化作用、変成岩と造山運動 3回 大気と海洋1 大気の構造と地球の熱収支、雲と降雨 4回 大気と海洋2 地球をめぐる大気、気象現象と日本の四季 5回 太陽系と宇宙の構造 地球の運動、太陽系と惑星
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)
テキスト	地学(テキスト、レジュメ、ドリル)、物理(テキスト)
参考文献	なし
その他	なし
注意事項	なし

法律行政専攻学科

科目名	基礎言語演習 I (文章読解)	
科目コード	THL	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な国語力・読解力・表現力を養うために学習を行なう。高校までの国語総合の知識とあわせ文章読解を中心に、公務員試験の特徴的な出題形式も考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験頻出分野である一般知能で幅広い内容の文章・活字に触れ知能を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する	
授業計画	1回	総合演習1
	2回	総合演習2
	3回	総合演習3
	4回	総合演習4
	5回	総合演習5
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	過去問題等	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎言語演習Ⅱ(文章表現)	
科目コード	THM	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な作文・小論文作成能力を養うために学習を行なう。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験分野である作文、小論文で幅広い内容の知識と文章表現・校正力を向上させる。段階的にレベルを引き上げていく必要がある科目のため基礎的な内容と演習を多く提供する。	
授業計画	1回	人と人との助け合いについて思うこと
	2回	社会の一員として働くということ
	3回	自分が成長したと思うこと
	4回	他人に対する配慮について思うこと
	5回	社会人として、新たに仕事を始めることについての期待と覚悟
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にて作文を行う。添削時各100点×5回＝500点満点にて評価(作文70%、出席点30%)	
テキスト	論作文対策テキスト	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会演習 I (歴史)	
科目コード	THN	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習: 20時間	
授業の目的	公務員に必要な歴史観の醸成を行なう。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に即した問題集を使用し演習と解説を行なう。	
授業計画	1回	原始 縄文文化、弥生文化、大和政権と古墳文化
	2回	古代 飛鳥文化、白鳳文化、天平文化、国風文化
	3回	中世 鎌倉時代、室町時代
	4回	近世、近代
	5回	日本史総合演習
	6回	古代文明、中国史イスラム世界
	7回	古代地中海世界 古代ギリシア、古代ローマ 中世ヨーロッパ
	8回	近代ヨーロッパの誕生 ルネサンス、大航海時代
	9回	16～18世紀のヨーロッパ、市民世界の成長、19世紀の欧米
	10回	世界史総合演習
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	人文科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会演習Ⅱ(思想)	
科目コード	THO	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な思想観の醸成を行なう。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に即した問題集を使用し演習と解説を行なう。	
授業計画	1回	西洋思想の源流
	2回	西洋の近代思想
	3回	現代思想
	4回	東洋思想の源流
	5回	日本の近代思想
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	人文科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会演習Ⅲ(地理)	
科目コード	THP	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員試験に必要な、現代世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、人種・民族などに関する地理的事象の分布やその要因などについて体系的に考察させるとともに、それらの学習で習得した知識、地理的技能を活用して学習を行う。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に即した問題集を使用し演習と解説を行なう。	
授業計画	1回	自然環境と地図1 地形
	2回	自然環境と地図2 世界の気候・植生・土壌、地図の特色と利用
	3回	資源と産業1 食料の生産と消費
	4回	資源と産業2 エネルギー資源と原料資源、工業化と工業地域
	5回	生活地域 村落と都市、人口の地域的特色、国土と住民、交通・通信と貿易
	6回	日本の地理 日本の国土、日本の人口、日本の産業、日本の諸地域
	7回	世界の地理1 アジア、アフリカ
	8回	世界の地理2 ヨーロッパ、アングロアメリカ・ラテンアメリカ、オセアニア
	9回	地理総合演習1
	10回	地理総合演習2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	人文科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会演習Ⅳ(政治経済)	
科目コード	THQ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な政治と経済の理解やわが国の金融政策、財政政策などの行政知識などの幅広い分野を演習し学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に即した問題集を使用し演習と解説を行なう。	
授業計画	1回	政治の基本概念、政治制度論
	2回	日本国憲法の特徴、基本的人権総論、幸福追求権、平等権
	3回	自由権、社会権、能動的権利と受益権、憲法改正の手続
	4回	国会の機構と運営、内閣の機構と運営、裁判所の機構と運営
	5回	地方自治、政治過程論、行政国家の諸問題
	6回	経済社会の変容と経済体制、現代の企業、現代の市場
	7回	国民所得、経済成長と景気循環
	8回	通貨制度と金融政策、財政制度と財政政策
	9回	日本経済の動向、貿易と外国為替
	10回	国際経済の動向
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	社会科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学演習 I (数学)	
科目コード	THT	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な数学の知識を理解し身に付ける。中学数学から高校数学の基礎的な分野まで幅広い分野を演習し学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、数学の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に演習を展開する。	
授業計画	1回	数と式、方程式
	2回	関数、微分積分
	3回	式と図形、不等式と領域
	4回	三角関数、指数・対数
	5回	数と体系
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	自然科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学演習Ⅱ(数的推理)	
科目コード	THU	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な数的推理の知能を向上させ身に付ける。1年次に学んだ内容の演習を幅広い分野で学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、数的推理の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に演習を展開する。	
授業計画	1回	方程式・不等式
	2回	整数・計算パズル
	3回	割合と比1
	4回	割合と比2
	5回	速さ1
	6回	速さ2
	7回	仕事算
	8回	場合の数
	9回	確立1
	10回	確立2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学演習Ⅲ(判断推理)	
科目コード	THV	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な判断推理の知能を向上させ身に付ける。1年次に学んだ内容の演習を幅広い分野で学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、判断推理の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に演習を展開する。	
授業計画	1回	論理
	2回	集合の要素と個数
	3回	順序
	4回	対応
	5回	位置と方位
	6回	勝ち負け
	7回	カード・ゲーム
	8回	ウソの発言
	9回	推理・手順
	10回	暗号
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学演習Ⅳ(空間把握)	
科目コード	THW	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な空間把握の知能を向上させ身に付ける。1年次に学んだ内容の演習を幅広い分野で学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、空間把握の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に演習を展開する。	
授業計画	1回	折り紙
	2回	回転の軌跡
	3回	正多面体・展開図
	4回	平面図形の構成
	5回	サイコロ
	6回	見取り図と投影図・積木
	7回	立体の切断・回転体
	8回	一筆書き
	9回	平面図形の計量
	10回	立体図形の計量
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎数学演習Ⅴ(資料解釈)	
科目コード	THX	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な資料解釈の知能を向上させ身に付ける。1年次に学んだ内容の演習を幅広い分野で学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、資料解釈の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に演習を展開する。	
授業計画	1回	実数・割合1
	2回	実数・割合2、構成比1
	3回	構成比2
	4回	構成比3
	5回	増加率1
	6回	増加率2
	7回	指数
	8回	増加率1
	9回	増加率2
	10回	相関図、三角グラフ
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	数的処理スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎自然科学演習 I (生物・化学)	
科目コード	THR	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な生物と化学の理解し身に付ける。生態の構造や遺伝など幅広い分野を演習し学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、生物・化学の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。	
授業計画	1回	生体の構造、生体内の代謝1
	2回	生体内の代謝2
	3回	生体内の代謝3、生殖と発生、遺伝と変異1
	4回	遺伝と変異2、刺激の受容と反応1
	5回	刺激の受容と反応2、内部環境の恒常性と調整1
	6回	内部環境と恒常性2、生物の集団
	7回	物質の構造1
	8回	物質の構造2、物質の状態
	9回	物質の変化
	10回	無機化合物、有機化合物、生活と環境の科学
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	自然科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎自然科学演習Ⅱ(物理地学)	
科目コード	THS	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な物理と地学の知識を理解し身に付ける。地球の構造や太陽系と宇宙の構造など幅広い分野を演習し学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、物理・地学の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。	
授業計画	1回	地球の姿と動く台地
	2回	岩石、大気と海洋1
	3回	大気と海洋2、太陽系と宇宙の構造1
	4回	太陽系と宇宙の構造2、地球と人類
	5回	運動の表現
	6回	力
	7回	運動方程式、エネルギー
	8回	運動量、熱
	9回	波動、電気
	10回	総合演習
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	自然科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	一般教養
科目コード	T6U
担当教員	本学教員
履修年次	1年次
授業時間数	演習:20時間
授業の目的	人文科学、社会科学、自然科学に関する一般教養をバランスよく身に付ける。広く一般的に知っておくべき内容に触れることで、自身で探求するきっかけとする。
授業内容	主要5科目の基礎講義を行う。自然科学系であれば、四則演算、仕事算、濃度の基礎的な問題から授業を行う。また授業内で問題演習時間を設けるため、問題演習を繰り返し行い、一般教養を養う。
授業計画	1回 非言語演習1(四則演算) 2回 非言語演習2(分数の計算) 3回 非言語演習3(割合) 4回 非言語演習4(仕事算) 5回 非言語演習5(比) 6回 言語1(二語の関係) 7回 言語2(ことわざ) 8回 言語3(熟語) 9回 言語4(四字熟語) 10回 言語5(長文読解)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。
成績評価方法	授業内にて定期試験を行う。 (試験70%、出席点30%)
テキスト	オリジナルテキスト
参考文献	なし
その他	なし
注意事項	なし

法律行政専攻学科

科目名	面接試験対策	
科目コード	T38	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:12時間、演習:8時間	
授業の目的	公務員合格に必要な知識、コミュニケーション能力を養うために網羅的な授業及び実習を行なう。面接とはなにか、基本的な事柄から理解を図る。	
授業内容	公務員面接試験の傾向に促したテキストを使用し基礎的な身だしなみについてや受け答え、自己分析についてなどの確認を行なう。3学期には各項目別に実践練習を行い効果測定を行なう。	
授業計画	1回	面接の重要性、入退室の仕方
	2回	入退室効果測定1
	3回	入退室効果測定2
	4回	自己PR作成1、自己分析1
	5回	自己PR作成2、自己分析2
	6回	自己PR作成3、性格適性試験の実施
	7回	面接効果測定1-1(自己PRのみ)
	8回	面接効果測定1-2(自己PRのみ)
	11回	面接効果測定2-1(自己PR完成・その他面接質問項目)
	12回	面接効果測定2-2(自己PR完成・その他面接質問項目)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回効果測定にて集計を行う。各回100点×6回=600点満点にて評価(試験70%、出席点30%)	
テキスト	就職ガイドブック、就職ノートブック、面接試験対策(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	面接試験対策Ⅱ	
科目コード	TG又	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:4時間、演習:16時間	
授業の目的	公務員合格に必要な知識、コミュニケーション能力を養うために網羅的な授業及び実習を行なう。1年次から学んだ内容を発展させて、実践中心の対策を行なう	
授業内容	公務員面接試験の傾向に合わせて個別面接や集団面接、集団討論などの実践的な練習をおこなう。	
授業計画	1回	集団面接基礎レクチャー
	2回	集団面接実践1
	3回	集団面接実践2
	4回	集団討論基礎レクチャー
	5回	集団討論実践1
	6回	集団討論実践2
	7回	春期公務員試験面接対策
	8回	国家公務員試験面接対策
	9回	秋期公務員試験面接対策1
	10回	秋期公務員試験面接対策2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回効果測定にて集計を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	就職ガイドブック、就職ノートブック、面接試験対策(テキスト)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	適性検査演習	
科目コード	TGU	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員試験において必要とされる適性能力を身に付けることを目的とする。一般に出題される言語・非言語項目を演習しながら身に着ける。	
授業内容	公務員試験において必要とされる適性試験の問題集を回答する。	
授業計画	1回	適性試験基礎レクチャー
	2回	適性試験演習1
	3回	適性試験演習2
	4回	適性試験演習3
	5回	適性試験演習4
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	適性試験ワークドリル(①~③)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	適性検査演習Ⅱ	
科目コード	TN4	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員試験合格に必要な適性試験対策を行なう。試験合格には不可欠な演習科目であり、データを纏める作業や、計算、事務作業能力を養うため学習を行なう。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に促したテキストを使用し段階別に習熟を図る。基礎的なレベルから実践的なレベル、過去問にも触れ応用力、実践力を養う。	
授業計画	1回	適性試験国家公務員一般職対策1
	2回	適性試験国家公務員一般職対策2
	3回	適性試験国家公務員一般職対策3
	4回	適性試験地方公務員初級対策1
	5回	適性試験地方公務員初級対策2
	6回	適性試験地方公務員初級対策3
	7回	適性試験実践問題1
	8回	適性試験実践問題2
	9回	適性試験実践問題3
	10回	適性試験実践問題4
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	適性試験(テキスト、実践問題集)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅱ(漢字)	
科目コード	TES	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:10時間	
授業の目的	公務員に必要な漢字の書き取りおよび読む能力を養うために学習を行なう。入学後か日本ビジネス技能検定協会漢字能力検定試験2級の取得を目指す。その後3学期に同協会主催の漢字能力検定1級を目指す。	
授業内容	公務員試験出題分野の傾向に促した漢字のテキストを使用し各章ごとに書き取りや読みの確認を行なう。検定試験直前期には各項目別に答案練習を行い検定試験合格率は90%以上を目指す。	
授業計画	1回	訓読み・送り仮名
	2回	熟語、異字同訓
	3回	同音異義語、誤字訂正
	4回	類義語、反対語
	5回	ことわざ・故事成語・慣用句
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	直前対策テスト及び試験合否にて集計を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	漢字能力検定試験 対策問題集(2級)	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習ⅩⅠ(官庁・企業研究)	
科目コード	TE1	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:6時間、演習:14時間	
授業の目的	公務員として勤務する中でより実務的な知識を学び、卒業後の生活・業務に活かしていく。実務的な知識に関して、有識者からの講義も行い更に理解を深める。	
授業内容	有識者による実務講義、行政の現場などの課題を教授頂き理解する。課題をグループディスカッションの方式で討議、更に理解を深める。その後、改善策や予防策を策定し立案・プレゼンを行う。有識者より最終的に評価を頂く。	
授業計画	1回	事前研究
	2回	有識者講義1
	3回	有識者講義2
	4回	グループディスカッション1
	5回	グループディスカッション2
	6回	グループディスカッション3
	7回	グループディスカッション4
	8回	グループディスカッション5
	9回	プレゼンテーション1
	10回	プレゼンテーション2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回にて研究資料の添削を行うとともにプレゼンテーションに評価を行う。(試験70%、出席点30%)	
テキスト	有識者講義の際必要に応じてレジュメ等を配布する。	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	法律概論	
科目コード	TGア	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な憲法理解や法律理解のために学習を行なう。教養科目で履修した政治、経済、社会の知識とあわせ公務員試験の出題形式も考慮し講義を行なう。	
授業内容	教養科目で学んだ政治・経済・社会についての憲法もしくは法律、政令、条例などの講義を行なう。	
授業計画	1回	政治の基本概念と制度論
	2回	日本国憲法の特徴と人権総論
	3回	幸福追求権と平等権
	4回	自由権と社会権
	5回	能動的権利と受益権、憲法改正の手続き
	6回	労働三法
	7回	社会保障
	8回	裁判所の機構と運営
	9回	地方自治、選挙制度
	10回	財政政策と金融政策
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の授業にてテストを行い、成績集計を行なう。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	政治テキスト、レジュメ、ドリル	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	官庁・企業研究	
科目コード	T9ウ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な官公庁や地方公共団体が抱える問題点について学び、自分自身の職業観や改善案を導き出す。またグループワークの手法をとり他の学生が考える職業観や改善案に触れ奥深い思考力を養う。	
授業内容	各自治体の抱える諸問題を提起し自宅や授業内で研究学習を行なう。その後、研究した内容をもとにグループディスカッションを行なう。また行政の中核である中央省庁についてどのような分野の省庁なのか研究を行なう。	
授業計画	1回	行政研究の導入
	2回	放置自転車対策について1
	3回	放置自転車対策について2
	4回	地球温暖化抑制に向けて自治体ができること1
	5回	地球温暖化抑制に向けて自治体ができること2
	6回	ボランティアと地方行政の関わり1
	7回	ボランティアと地方行政の関わり2
	8回	行政研究の振り返り
	9回	中央省庁研究1
	10回	中央省庁研究2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回にて研究資料の添削を行うとともにプレゼンテーションに評価を行う。(試験70%、出席点30%)	
テキスト	レジュメ	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	法律演習	
科目コード	TGコ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な憲法理解や法律理解のために学習を行なう。教養科目で履修した政治、経済、社会の知識とあわせ公務員試験の出題形式も考慮し演習を行なう。	
授業内容	教養科目で学んだ政治・経済・社会についての憲法もしくは法律、政令、条例などの講義及び演習を行なう。	
授業計画	1回	政治の基本概念と制度論
	2回	日本国憲法の特徴と人権総論
	3回	幸福追求権と平等権
	4回	自由権と社会権
	5回	能動的権利と受益権、憲法改正の手続き
	6回	労働三法
	7回	社会保障
	8回	裁判所の機構と運営
	9回	地方自治、選挙制度
	10回	財政政策と金融政策
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	社会科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	ビジネスマナー	
科目コード	T6V	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間、演習:20時間	
授業の目的	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。	
授業内容	電話対応、接客、接遇などの基本ルールを学ぶ。 (内定職種等に応じた学習を行う)	
授業計画	1回	マナーの必要性
	2回	OB・OGの声
	3回	学校と職場の違い
	4回	職場のマナー
	5回	仕事の進め方
	6回	「ほう・れん・そう」とは
	7回	挨拶の種類
	8回	笑顔・お辞儀
	9回	正しい敬語の使い方
	10回	対応の基本
	11回	電話対応のマナー
	12回	電話の受け方
	13回	電話のかけ方
	14回	電話練習
	15回	効果測定1(敬語の基本)
	16回	効果測定2(電話対応の基本)
	17回	状況別の電話対応
	18回	電話練習
	19回	効果測定3(敬語の基本)
	20回	効果測定4(状況別の電話対応)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回効果測定にて集計を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	PCP ビジネスマナー	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅳ(ビジネス行動論)	
科目コード	TEU	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間、演習:20時間	
授業の目的	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。	
授業内容	接客、接遇などの基本ルールを学ぶ。 (内定職種等に応じた学習を行う)	
授業計画	1回	接遇の心構え
	2回	お茶の入れ方・出し方
	3回	お見送り・後片付け
	4回	接客販売のプロとして
	5回	お客様の心理を理解しよう
	6回	店内接客の基本
	7回	状況別の店内接客
	8回	営業職のマナーとは
	9回	営業職の仕事
	10回	訪問のマナー
	11回	訪問後のフォロー
	12回	商談の進め方
	13回	応酬話法
	14回	商品説明とは
	15回	聞き上手は成功する
	16回	商品知識
	17回	お客様にとってのメリットを語る
	18回	説明に必要な資料の用意
	19回	話しの組み立て方
	20回	効果測定
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	効果測定にて集計を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	PCP ビジネスマナー	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅸ(接遇論・マナー実践)	
科目コード	TEZ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間、演習:20時間	
授業の目的	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。	
授業内容	ケース別の実践的なロールプレイングを行い、より実践的なトレーニングを行う。	
授業計画	1回	状況別挨拶練習1
	2回	電話対応ロールプレイング1
	3回	伝言記述練習
	4回	電話対応ロールプレイング2
	5回	伝言復唱練習
	6回	電話対応ロールプレイング3
	7回	状況別挨拶練習2
	8回	電話対応ロールプレイング4
	9回	内線電話対応
	10回	電話対応総まとめ
	11回	効果測定1
	12回	総合ロールプレイング1(接遇・外線・伝言・宛名書き等)
	13回	総合ロールプレイング2(接遇・外線・伝言・宛名書き等)
	14回	総合ロールプレイング3(接遇・外線・伝言・宛名書き等)
	15回	総合ロールプレイング4(道案内・各種問い合わせ・内線対応)
	16回	総合ロールプレイング5(道案内・各種問い合わせ・内線対応)
	17回	総合ロールプレイング6(道案内・各種問い合わせ・内線対応)
	18回	総合ロールプレイング7(道案内・各種問い合わせ・内線対応)
	19回	総合ロールプレイング8(ビジネス文書)
	20回	総合ロールプレイング9(ビジネス文書)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	効果測定にて集計を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	PCP ビジネスマナー	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会Ⅶ(社会時事)	
科目コード	TEL	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:20時間	
授業の目的	公務員に必要な社会理論と労働問題、社会保障などの理解や地球規模の環境問題を学習し知識を養う。また時事的な内容も併せ学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な内容に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験では1~2問程度の分野であり、代表的な分野の考え方を理解する。頻出の分野を中心に、社会保障政策や国際関係の変化を学習する、講義を中心に実施していく。授業をレジュメとテキストを駆使する。	
授業計画	1回	社会理論1 社会集団、社会変動
	2回	社会理論2 現代社会、パーソナリティ
	3回	労働問題1 労働法規
	4回	労働問題2 日本の労働状況
	5回	社会保障1 社会保障制度
	6回	社会保障2 社会保障の状況
	7回	環境問題1 日本の環境問題
	8回	環境問題2 地球の環境問題
	9回	国際関係1 国際社会と国際法
	10回	国際関係2 国際機関、国際情勢
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内にてまとめ試験を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	社会テキスト、レジュメ、ドリル	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	基礎社会演習Ⅴ(社会時事)	
科目コード	TGノ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	公務員に必要な社会の理解やわが国の環境問題、労働問題、国際関係などの行政知識などの幅広い分野を演習し学習する。高校までの知識とあわせ公務員試験に見られる特徴的な話題に特化・考慮し学習を行なう。	
授業内容	公務員試験の頻出分野であり、現代社会の重要性を理解する。問題演習を中心に実施していく。特に公務員試験に出題され易い分野を中心に講義を展開する。	
授業計画	1回	社会理論1
	2回	社会理論2
	3回	労働問題1
	4回	労働問題2
	5回	社会保障1
	6回	社会保障2
	7回	環境問題1
	8回	環境問題2
	9回	国際関係1
	10回	国際関係2
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	社会科学スタンダード問題集	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅲ(計算技能)	
科目コード	TET	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	電卓に関する基礎知識の習得と、使用法を学び、技術向上に努める事を目的とする。また、電卓検定に向け、日々電卓の練習を重ね、検定試験合格を目的とする。	
授業内容	電卓の機能について学び、得た知識を演習を通して実践する。演習を重ねる事で自身と向き合い、より高度な段位・級を取得できるよう電卓に取り組む。	
授業計画	1回	電卓検定対策
	2回	電卓検定対策
	3回	電卓検定対策
	4回	電卓検定対策
	5回	電卓検定対策
	6回	電卓検定対策
	7回	電卓検定対策
	8回	電卓検定対策
	9回	電卓検定対策
	10回	電卓検定対策
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	電卓検定試験問題集	
参考文献	なし	
その他	各自、電卓検定対策問題集を準備すること。	
注意事項	他の学習項目時にも電卓検定対策を実施する場合あり。	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅶ(卒業研究)	
科目コード	TEX	
担当教員	実務経験非常勤/現職の警察官に講義をしていただく。現状の警察行政が抱える課題を講演、問題提起を行い、学生研究発表の際には総評をいただく。))	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:8時間、演習:12時間	
授業の目的	公務員として勤務する中でより実務的な知識を学び、卒業後の生活・業務に活かしていく。実務的な知識に関して、有識者からの講義も行い更に理解を深める。	
授業内容	有識者による実務講義、行政の現場などの課題を教授頂き理解する。課題をグループディスカッションの方式で討議、更に理解を深める。その後、改善策や予防策を策定し立案・プレゼンを行う。有識者より最終的に評価を頂く。	
授業計画	1回	事前研究
	2回	有識者講義1
	3回	グループディスカッション1
	4回	グループディスカッション2
	5回	グループディスカッション3
	6回	プレゼンテーション1
	7回	プレゼンテーション2
	8回	プレゼンテーション3
	9回	有識者講義2
	10回	有識者講義3
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	研究資料の添削及びプレゼンテーションの評価にて行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	有識者講義の際必要に応じてレジュメ等を配布する。	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	総合演習Ⅻ(時事研究)	
科目コード	TE2	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:14時間、演習:6時間	
授業の目的	世の中の身近な問題に触れ、研究することで、自分なりの物事の捉え方、これから先起こることを予測し、自身の日常生活、キャリアに活かす知識、分析力を身に付ける。	
授業内容	最新の時事問題をテーマに、各自が情報収集し、レポート用紙に、まとめる。授業後半では、発表の機会も設け、多くの意見を参考に思考していく。	
授業計画	1回	時事用語知識1
	2回	時事用語知識2
	3回	時事用語知識3
	4回	時事用語知識4
	5回	時事用語知識5
	6回	時事用語知識6
	7回	時事用語知識7
	8回	時事個人研究1
	9回	時事個人研究2
	10回	時事個人研究3
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各界時事用語確認のテストを行う。	
テキスト	公務員試験頻出時事テキスト	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	パソコン実習	
科目コード	TDP	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	講義:10時間、演習2時間、実習:8時間	
授業の目的	Wordを使用し、PCの基本知識の習得、PCに備え付けられている基本動作を使いこなし、自分一人で基礎的なビジネス文書作成が出来る事を目的とする。	
授業内容	テキストを用いて、Wordに関する基礎知識の習得、機能の理解をする。身についた知識と機能を使い、基礎的なビジネス文書作成能力を演習を通して向上させる。	
授業計画	1回	Wordの画面について(ボタン等の名称を覚える)
	2回	文書の作成と管理(基本操作の確認)
	3回	一般的なビジネス文書の作成(基本ルールの確認)
	4回	社外文書作成に関する基礎知識(作成上の手順・操作、書式設定を覚える)
	5回	社外文書作成実習1(指定された文書を時間内に作成し完成させる)
	6回	社外文書作成実習2(指定された文書を体裁を整え時間内に作成する)
	7回	社内文書作成に関する基礎知識(作成上の手順・操作を覚える)
	8回	社外文書作成実習1(指定された文書を時間内に作成し完成させる)
	9回	社内文書作成実習2(指定された文書を体裁を整え時間内に作成する)
	10回	効果測定(ビジネス文書知識)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	効果測定にて成績集計を行なう。 (成績70%、出席点30%)	
テキスト	オリジナルテキスト	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	パソコン実習Ⅱ	
科目コード	TDQ	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習4時間、実習:16時間	
授業の目的	実務で必要とされる書類作成技術を身に付けることを目的とする。	
授業内容	校内のPCを利用し、商品の発注・受注から納品・請求までの一連の事務手続きに必要な書類作成技術を学ぶ。	
授業計画	1回	Excel総合実習1
	2回	Excel総合実習2
	3回	Excel総合実習3
	4回	Excel総合実習4
	5回	効果測定1
	6回	Excel総合実習6
	7回	Excel総合実習7
	8回	Excel総合実習8
	9回	Excel総合実習9
	10回	効果測定1
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	効果測定にて成績集計を行なう。 (成績70%、出席点30%)	
テキスト	オリジナルテキスト	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	OA基礎知識	
科目コード	TD9	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
授業時間数	演習:20時間	
授業の目的	業務上必要とされるOAの基礎的な知識習得とコンピュータに関する基礎的な知識習得を目的とする。	
授業内容	パソコンの基礎知識やインターネットやメールの基礎知識、VDT安全対策の理解を行う。また、コンピュータ内部の論理演算・動作についても概略を学ぶ。	
授業計画	1回	テクノロジー1
	2回	テクノロジー2
	3回	テクノロジー3
	4回	ストラテジ1
	5回	ストラテジ2
	6回	ストラテジ3
	7回	マネジメント1
	8回	マネジメント2
	9回	マネジメント3
	10回	マネジメント4
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	各回の演習にて成績集計を行なう。 (演習成績70%、出席点30%)	
テキスト	オリジナルテキスト	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	卒業研究	
科目コード	TH2	
担当教員	実務経験非常勤/現職の市役所職員に講義をしていただく。実務に即した行政課題の講義及び問題提起を行い、学生研究発表の際には総評をいただく。	
履修年次	1年次	
単位	講義:10時間、演習:10時間	
授業の目的	公務員として勤務する中でより実務的な知識を学び、卒業後の生活・業務に活かしていく。実務的な知識に関して、有識者からの講義も行い更に理解を深める。	
授業内容	有識者による実務講義、行政の現場などの課題を教授頂き理解する。課題をグループディスカッションの方式で討議、更に理解を深める。その後、改善策や予防策を策定し立案・プレゼンを行う。有識者より最終的に評価を頂く。	
授業計画	1回	事前研究
	2回	有識者講義1
	3回	有識者講義2
	4回	グループディスカッション1
	5回	グループディスカッション2
	6回	グループディスカッション3
	7回	プレゼンテーション1
	8回	プレゼンテーション2
	9回	有識者講義3
	10回	有識者講義4
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	研究資料の添削及びプレゼンテーションの評価にて行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	有識者講義の際必要に応じてレジュメ等を配布する。	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	プレゼンテーション基礎知識	
科目コード	T3B	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
単位	講義:10時間、演習:10時間	
授業の目的	プレゼンテーション能力は、現代社会では必須能力になってきている。本授業ではプレゼンテーションに関する基礎的な考え方を身に付ける事を目的とする。	
授業内容	プレゼンテーションとは何を指すか、どのような場面で必要になるか、何を意識する必要があるか等、プレゼンテーションに関する基本的な考え方を講義形式で行っていく。授業内ではグループディスカッションも行う。	
授業計画	1回	プレゼンテーションとは
	2回	ターゲット 聞き手は誰かを考える
	3回	表現方法 聞き手に合った言葉使いとは
	4回	より伝わる具体例の導き方
	5回	共感が人を動かす
	6回	聞き手を飽きさせない技術1(間の取り方)
	7回	聞き手を飽きさせない技術2(発声方法、トーン)
	8回	聞き手を飽きさせない技術3(表情、ポディーラングージ)
	9回	聞き手を飽きさせない技術4(面白いネタを入れる)
	10回	聞き手を飽きさせない技術5(まとめ)
授業時間外の学習	授業内で予習・復習に必要な課題を用意(別途、授業内にて担当より指示)。	
成績評価方法	授業内でのプレゼンテーション発表を2回行う。 (プレゼンテーション成績70%、出席点30%)	
テキスト	PCPプレゼンテーション	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	プレゼンテーション演習	
科目コード	TAM	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
単位	演習:20時間	
授業の目的	現代社会の社会人にとってプレゼンテーション能力は、必須能力と言っても過言ではない。社会人として身に付けておくべきプレゼンテーション力を数多くの演習を通して向上させ、人前で話すことに慣れ、伝えるべきことを明確かつ的確に相手に届ける力を身に付ける事を目的とする。	
授業内容	授業ごとにテーマを掲げ、そのテーマについて、事前準備を行い、人前でプレゼンテーションを行う。また、人を惹き付けるためのテクニックも学び、実際に自信のプレゼンテーションについてどう感じたかをディカッション形式で意見交換を行う。	
授業計画	1回	プレゼンテーションは何のために行うか
	2回	プレゼンテーションとコミュニケーションの違いとは
	3回	相手の心を動かすとはどういうことか
	4回	聞き手の立場に立つ
	5回	プレゼンテーションテーマを決める
	6回	事前準備について1(情報収集)
	7回	事前準備について2(話の構成)
	8回	事前準備について3(原稿作成)
	9回	プレゼンテーション1 意見交換
	10回	プレゼンテーション2 意見交換
授業時間外の学習	プレゼンテーションをするにあたり、各自必要な資料、情報収集を授業時間外で行う。	
成績評価方法	授業の出席状況、プレゼンテーション発表内容、ディスカッションでの貢献度を総合的に判断し評価する。(試験70%、出席点30%)	
テキスト	PCPプレゼンテーション	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	

法律行政専攻学科

科目名	コミュニケーション論	
科目コード	TAN	
担当教員	本学教員	
履修年次	1年次	
単位	講義:10時間、演習:10時間	
授業の目的	コミュニケーションの本質である、自身の考えを、相手に理解してもらうために必要な力を養う事を目時とする。	
授業内容	時事テーマについて、情報収集し、自身の考えをまとめる。まとめた情報を相手に伝え、相手とディスカッションを行うことで、自身の物事の捉え方の幅を広げていく。	
授業計画	1回	オリエンテーション
	2回	時事テーマを決める
	3回	情報収集1
	4回	情報収集2
	5回	資料作成1
	6回	資料作成2
	7回	発表練習1
	8回	発表練習2
	9回	発表1
	10回	発表2
授業時間外の学習	時事発表に向けた、情報収集および資料作成。	
成績評価方法	発表内容、作成した資料をもとに評価を行う。 (試験70%、出席点30%)	
テキスト	なし	
参考文献	なし	
その他	なし	
注意事項	なし	